

地域ネットワークニュース

～令和5年6月の勉強会のお知らせ & 令和5年5月の勉強会報告～

第276回 地域ネットワーク勉強会

保護者支援を子どもの行動から考える ～行動で見て、考える！！～

講師：枝松 慎次郎氏（公認心理師・臨床心理士）
茨城県発達障害者支援センターCOLORSつくば

日時：6月16日（金）

時間：午後7時～午後9時

場所：保健・福祉会館2階 研修室

定員：60名（地域ネットワーク勉強会のみ）

※事前の申し込みをお願いします。

発達の気になる子は、早い段階から適切とされる関わりを継続することで年齢を重ねるにつれて、生活のしにくさが減少していくことがデータで示されています。幼児が家族を離れて初めての時間を過ごす保育園や幼稚園は、その子の特徴を客観的に発見できる場面であり、この期間における適切な関わり方がその子の生活のしにくさの大小につながるとされています。



そこで今回は、茨城県発達障害者支援センターCOLORSつくばの枝松氏をお招きし、保護者との関係づくりの大切さや子どもの気になる行動の受け止め方などを具体的事例を交えてお話をいただきます。第10期発達障害療育者研修との合同企画として開催しますが、業務の都合等で4日間すべての研修会に参加できない幼稚園や保育園、児童発達に関わる事業所の方も参加可能です。多くの方の参加をお待ちしています。

会場には情報提供・紹介コーナーを設けています。福祉や医療に関する事業所等のパンフレットやチラシ、研修会のご案内など、配布、展示いたします。当日のご持参でもかまいません。みなさまからの情報をお待ちしています。

申込・問合せ先 神栖市社協 地域福祉総合相談センター 担当 川田、三浦 電話 0299-93-0294

第275回 地域ネットワーク勉強会報告

令和5年5月19日開催 <参加者54名>

地元精神科医に聞く！！ ストレスと精神疾患の関係性

講師：児玉医院 副院長 児玉 知之氏（精神保健指定医）



今回の勉強会では、神栖市で精神科医として活躍されている児玉医院の児玉知之先生をお招きし、誰にでも起こりうる可能性のある精神疾患の特徴や診断基準、精神疾患のある方との関わり方などを具体的な事例を交えてお話しいただきました。講義の中で、支援者が精神的に落ち込みのある方に受診を促すポイントとして、その人の生活に少しでも支障が出ているようであれば、それは精神疾患が疑われる状態である為、まずは精神科への受診を勧めてほしい。精神疾患は、うつ病や統合失調症、不安障害や認知症など様々な要因が混在していて精神科医でも診断に迷うことがある為、支援者が「〇〇障害の可能性が高いから病院へ行きましょう」などの声掛けはせずに、本人の受診が難しい状態であればまずは家族のみの受診を促すことも検討してほしいとのことでした。また、精神疾患のある方への関わり方については各疾患ごとの関わり方のポイントなどを具体的にお話しいただきました。講義の最後の質疑応答の時間では、支援者として関わっている精神疾患のある方への対応について、精神科医としての視点でアドバイスをいただき、より実践的な支援の現場を意識した学びを深めることができました。